

<p style="text-align: center;">知識情報サービス論 Knowledge Information Services</p>	<p style="text-align: center;">(教員名) 吉田 大介</p>	
<p style="text-align: center;">知識情報基盤研究分野 中核科目</p>	<p style="text-align: center;">講義科目</p>	<p style="text-align: center;">選択</p>
	<p style="text-align: center;">1 単位</p>	<p style="text-align: center;">2017 年度・前期</p>
<p>I 科目の主題</p> <p>近年、情報技術・機器の発展、様々なセンサやアプリケーションを搭載したスマートフォン等の端末が一般利用者へ普及したことにより、膨大な情報と知識がインターネットを通じ蓄積し、利用可能になっている。このような情報を有効に活用するには、正しい知識と高度な技術が必要になる。授業前半では、知識情報の発信や共有事例として、様々なソーシャルメディアを取り上げる。特に、東日本大震災等の災害で、ソーシャルメディアが果たした役割や問題点について、説明・議論を行う。授業後半では、公共データやソーシャルメディアが生み出す様々なオープンデータやビッグデータについて、現在のトレンドや関連技術、問題点について議論する。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>近年の様々な情報システム・サービスの特徴や、それらが活用された事例や、普及に至った背景について学び、知識情報を共有・発信できる能力を身につける。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>第1回 知識情報サービス論 ガイダンス 第2, 3回 Web における知識情報の提供と共有技術 第4回 ソーシャルメディアとクラウドソーシング 第5, 6回 災害支援とソーシャルメディア 第7, 8回 クラウドソーシングの応用事例 第9, 10回 オープンデータと活用事例 第11, 12, 13回 ビッグデータと活用事例 第14回 文教分野におけるデータ利活用 第15回 まとめ</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>講義用ホームページに予め講義資料を掲載しておくので、授業前までに確認しておくこと。授業後は講義で解説した内容について各自で調べ、次回の授業までに質問内容を考えておくこと。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>平常点は授業態度・貢献度により 10 点、期末レポートを 90 点で評価し、その総計により評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>コンピュータ及びインターネットに関する基礎的な知識を有すること。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>授業時間中にプリントを配布。参考図書は授業の中で紹介する。</p>		